



学校環境緑化の日

緑育心のルーツは校舎移転にあった!



校内の環境整備



学級分会活動



本校は昭和46年、現在の高台へ校舎を移転した。移転当初は建設工事より山肌は削り取られ、砂埃舞う荒涼とした敷地であった。そこで、学校緑化十カ年計画を樹立し、生徒・教員・地域住民が一体となって環境緑化に挑んだ。そして、昭和56年の全日本学校環境緑化コンクールで特選を受賞、昭和60年には緑化推進運動功労者として内閣総理大臣賞を受賞。緑化活動でこのような高い評価を受けた記念として建てられたのが、生徒玄関脇にある石碑である。緑育心には、「緑は心育てる」というメッセージが込められている。

地区分会活動



昭和・平成・令和と催される52年目の伝統行事

開会式から気合い十分!



地元仲間との結束誓う。

出身地区を花やかに



昭和48年からは、緑育心を校外でも発揮するようになった。それが出身地区へ出向き、環境美化に取り組む地区分会活動の現在のスタイル。平成16年から学校単独で行っていたものを「青い森鉄道利用促進協議会」と「沿線地元組織会の方々」と連携して、全ての沿線各駅において環境整備事業を一斉に展開した。環境美化活動を得意とする私たちが地域から求められた証でもある。



80周年を迎える今年度、記念事業の一環でハナミズキの植樹が行われた。花言葉は、「感謝」・「幸福」・「返礼」・「永続性」。記念樹にピッタリの樹木である。さて、植樹日は諸事情により、当初の予定日より遅れたようだが、奇しくも学校環境緑化の日に執り行われるあたりが感慨深い。そういえば、80周年のスローガンに「緑育心」が盛り込まれたらしい。私達にとって緑育心とは何だろう。

80周年記念植樹



緑育心 地域と歩み “80年” 学びと伝統 これからも

